

今後の独立行政法人評価関係業務の進め方について（討議メモ）

評価作業の体制等

- 当委員会は、各府省の独立行政法人評価委員会による業務実績評価結果について、評価委員会単位で意見を述べることとなる。このため、15年度業務実績評価についても、これまでどおり、府省別のWGを編成して評価作業を行うことが適当なのではないか。
- 府省別のWGを編成する場合、評価対象となる法人数の増を考慮すると、以下のような編成が考えられるのではないか。
- ただし、当面は、独立行政法人評価分科会（分科会所属委員全員）で各府省からのヒアリング等を全体的・横断的に行うこととし、各委員の希望を踏まえて各々の新WGの所属メンバーを決定し、WGとしての活動を開始するのは、前回の評価と同様、7月頃からとしてはどうか。

<WGのイメージ>

【14年度実績評価】		【15年度実績評価】	
<評価対象>		<評価対象>	
経産・農水WG	22法人	農水WG	21法人
財務・文科・厚労WG	20法人	文科WG	21法人+1業務
内閣・総務・国交・環境WG	17法人	国交WG	18法人
		総務・外務・経産・環境WG	17法人
		内閣・財務・厚労WG	18法人
※各WGとも4委員		※各WGとも4委員	

準備作業の体制等

- 実際の評価作業は府省別のWGで行うとしても、その準備作業として、あらかじめ、法人の業務類型ごとの評価方法の在り方等について、各法人・各府省横断的に検討、整理等を行っておくことが重要なのではないか。
- このため、現行の「財務内容の改善等についての評価方法の在り方に関する研究会」以外に、法人の業務類型別の評価方法の在り方等についての検討、整理等を行う研究会

を、適時に開催することとしてはどうか。

- 当面は、平成15年度業務実績評価を念頭に、①これまでの評価活動を通じて、評価方法の在り方等についての検討、整理等が必要と認められるもの及び②特殊法人等改革に伴い設立された法人の評価を行うに当たって、あらかじめ評価方法の在り方等についての検討、整理等が必要と認められるものとして、以下の4研究会を新設することとしてはどうか。

<研究会のイメージ>

- ・ 研究開発業務関係法人の評価方法の在り方に関する研究会
- ・ 教育・指導・訓練関係法人の評価方法の在り方に関する研究会
- ・ 振興助成・融資関係法人の評価手法の在り方に関する研究会
- ・ 公共用物・施設設置運営関係法人の評価方法の在り方に関する研究会
- ・ 財務内容の改善等についての評価方法の在り方に関する研究会（現行どおり）

※各WGとも委員の要望を踏まえて4～5委員程度で構成

- 研究会においては、有識者、関係者等からのヒアリングを2回程度行った上で議論を深めていくこととし、その検討、整理等の成果は、当委員会が15年度業務実績評価の二次評価を行うに当たっての「関心事項」という形で取りまとめ、各府省に提示することとしてはどうか（取りまとめ時期は、各府省の独立行政法人評価委員会が評価を始める7月より前か。）。
- 研究会においてヒアリング、検討、整理等を行っていく上で留意すべき事項としては、どのようなものがあるか。